

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年10月14日更新

事務事業名	塩浸川浄化センター及び関連ポンプ場維持管理事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input checked="" type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	2	緑豊かな環境と共生するまちづくり		所属部	水道局	課長名 久留 伸二
	施策	10	水環境の保全		所属課	上下水道課	担当者名 酒巻 将之
	基本事業	28	水質の浄化		所属班	管理工務班	(内線) 1177
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	成果優先度評価結果
	下水	1	1	3	10237	下水道法、水質汚濁防止法	コスト削減優先度評価結果
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)	

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	塩浸川浄化センター及びマンホールポンプ場の適正な維持管理及び運営を行う事業である。 ・消耗品、医薬材料、燃料の適宜調達管理事務 ・維持管理状況の確認、指示、指導事務 ・法定検査対応事務 ・維持管理運転に係る補修対応事務
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	供用開始から18年を経過し、老朽化が見受けられ、5年前と比較すると施設の補修箇所が多少増えてきている。
【業務の流れ】	①役務及び委託業務に係る年間契約事務、②補修及び修繕に係る随時の実施判断及び契約事務(1.故障等報告受付、2.現地調査及び分析、3.契約事務、4.現地打合・立会い、5.竣工・完了検査、6.支払事務)、③維持管理運転委託事務(1.過去実績及び現状分析、2.維持管理業務設計書作成及び予算算定、3.維持管理業務契約、4.月毎の維持管理状況確認及び精査、5.委託費支払事務)
【主な予算費目】	需用費(消耗品費、光熱水費、施設修繕費、燃料費、医薬材料費)、役務費、委託料、使用料及び賃借料、工事請負費
【意見や要望】	特になし
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
①手段(主な活動)22年度実績(22年度に行った主な活動)(DO)	23年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
浄化センター・ポンプ場等が適正な機能を発揮し、良好な運転状況を維持するため、保守、点検の委託を行った。また、設備の故障及び破損に対し、適切な改善策を決定し優先度を判断して効率的かつ的確な修繕を行った。	浄化センター・ポンプ場等が適正な機能を発揮し、良好な運転状況を維持するため、保守、点検の委託を行う。また、設備の故障及び破損に対し、適切な改善策を決定し優先度を判断して効率的かつ的確な修繕を行う。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア: 保守点検、委託の件数	件
イ: 補修件数	件
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
終末処理場、中継ポンプ場、マンホールポンプ場	→ ア: 浄化センターの箇所数
	箇所
	→ イ: ポンプ場の箇所数
	箇所
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
支障無く稼働できる	→ ア: 不具合やトラブルの発生率(件数)
	件
	→ イ: 不具合やトラブルへの対応率
	%
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠	
下水道機能維持のために、不具合やトラブルの発生を点検等により未然に防ぎ、不慮の発生時には的確な対応にて管理する。	

(2)各指標・総事業費の推移		単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込	
①活動指標	ア	件	4	4	4	4	4	4	4	
	イ	件	5	6	7	9	8	9	10	
②対象指標	ア	箇所	1	1	1	1	1	1	1	
	イ	箇所	32	32	32	32	32	32	32	
③成果指標	ア	件	6	6	9	9	10	10	10	
	イ	%	100	100	100	100	100	100	100	
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円	67,175	65,394	70,171	69,824	72,739	73,000	73,500
		繰入金	千円							
		一般財源	千円							
人件費	(A)事業費計	千円	67,175	65,394	70,171	69,824	72,739	73,000	73,500	
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	正規職員従事人数	人	7	7	7	7	7	7	7	
総計	延べ業務時間	時間	900	900	900	1,005	900	900	900	
	(B)人件費計	千円	3,600	3,582	3,582	4,140	3,708	3,708	0	
トータルコスト(A)+(B)		千円	70,775	68,976	73,753	73,964	76,447	76,708	73,500	

総トータルコスト  
全体計画  
～年度

(期間限定複数年度のみ記載)

事務事業名	塩川川浄化センター及び関連ポンプ場維持管理事業	所属部	水道局	所属課	上下水道課
-------	-------------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (SEE)  
 \*原則は22年度の後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 点検等による施設の状況を把握しているため、現時点での対応予定はできている。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 老朽化した施設の改築を年次計画をたて実施することにより、トラブルの発生や補修箇所が減り、円滑な維持管理できる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ・当処理区域に限られた維持管理業務であるため、統廃合・連携はできない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ・必要な維持管理業務のほとんどを委託し、最小のメンテナンス経費で運転管理しており、設備の増設も加わるため、増額はあっても、これ以上の削減はできない。 ・平成21年度に実施した包括的民間委託導入検討結果では、既に包括的なメンテナンスが行われており、現維持管理以上の経費削減は期待できないという結果であった。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 平成21年度実施の包括的民間委託導入検討結果により判断する。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 受益者より使用料を応分負担して頂いているので適切である。
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 市に代わる事業体がない。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

緊急を要する修繕等、急な故障にも適切に対応でき下水道の維持に支障なく管理できた。特殊な設備が多いため、故障の件数減少のためにも専門業者による点検範囲を再度検討したい。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						